

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2020年2月14日

【四半期会計期間】 第34期第1四半期(自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)

【会社名】 株式会社まんだらけ

【英訳名】 MANDARAKE INC.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 古川 益蔵

【本店の所在の場所】 東京都中野区中野五丁目52番15号

【電話番号】 03(3228)0007(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役経理部長 川代 浩志

【最寄りの連絡場所】 東京都中野区中野五丁目52番15号

【電話番号】 03(3228)0007(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役経理部長 川代 浩志

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第33期 第1四半期累計期間	第34期 第1四半期累計期間	第33期
会計期間		自 2018年10月1日 至 2018年12月31日	自 2019年10月1日 至 2019年12月31日	自 2018年10月1日 至 2019年9月30日
売上高	(千円)	2,412,753	2,331,929	10,059,003
経常利益	(千円)	204,486	128,982	847,732
四半期(当期)純利益	(千円)	137,485	80,388	564,034
持分法を適用した 場合の投資利益	(千円)			
資本金	(千円)	837,440	837,440	837,440
発行済株式総数	(株)	7,236,000	7,236,000	7,236,000
純資産額	(千円)	6,883,597	7,383,866	7,310,089
総資産額	(千円)	15,218,559	16,131,430	15,638,298
1株当たり四半期 (当期)純利益金額	(円)	20.75	12.13	85.14
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)			
1株当たり配当額	(円)			1.00
自己資本比率	(%)	45.23	45.77	46.74

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりませんので、連結会計年度に係る主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 持分法を適用した場合の投資利益については、関連会社がないため記載しておりません。

4. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません

#### 2 【事業の内容】

当第1四半期累計期間において、当社において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第1四半期累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は発生しておりません。

### 2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、本四半期報告書提出日現在において当社が判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

当第1四半期累計期間のわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善を背景に、緩やかな回復基調にあるものの、中国経済の鈍化、米中貿易摩擦の長期化懸念など海外経済の不確実性により、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社が属する中古商品業界におきましては、国内の雇用・所得環境の改善が実感を伴わず、消費者の節約志向はより強固となり、生活防衛意識の高まりによって中古商品全般の需要は、維持されております。海外においては日本のまんが、アニメーションという優れたコンテンツへの関心と評価は向上を続け、関連商品の需要もまた喚起され、市場は活発に拡大しております。この中古商品業界に対して、新たな事業者の参入意欲も旺盛で、消費者の一層の関心を求める業者間の競争は激化しており、厳しい事業環境が続いております。

このような事業環境のもと、当社はこれまでの方針の維持に努め、最新の商品からマニアックな希少品まで、新たな商材を掘り起こし、その市場の創出と定着を図りながら、幅広い品揃えの充実を進めております。当社が取り扱う商品については、買い取りの告知などを通じ、世間の関心を集め、掘り起こしました多種多様な商品は店頭及びWEB上で全世界に向けて紹介、コレクターはもとより一般のお客様から、潜在的ニーズを引き出す営業活動を展開してまいりました。

販売面におきましては、秋葉原にソフビ専門店「まんだらけCoCoo（コクウ）」、池袋にTOY専門店「まんだらけ那由多（ナユタ）」が12月にオープンいたしました。専門店として幅広いお客様のニーズに応える品揃えを実現し、売上高の増加に貢献を始めております。

その結果、当第1四半期累計期間の売上高は2,331百万円（前年同四半期比3.3%減）、営業利益は119百万円（前年同四半期比44.4%減）、経常利益は128百万円（前年同四半期比36.9%減）、四半期純利益は80百万円（前年同四半期比41.5%減）となりました。

#### (2) 財政状態の分析

当第1四半期会計期間末における資産の残高は、前事業年度末と比較して493百万円増加し16,131百万円となりました。これは、主にたな卸資産の増加によるものであります。

当第1四半期会計期間末における負債の残高は、前事業年度末と比較して419百万円増加し8,747百万円となりました。これは、主に短期借入金の増加1,029百万円、1年以内返済予定の長期借入金の減少553百万円によるものであります。

当第1四半期会計期間末における純資産の残高は、利益剰余金の増加73百万円により、7,383百万円となりました。

#### (3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期累計期間において、当社の事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

#### (4) 研究開発活動

該当事項はありません。

### 3 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	20,628,000
計	20,628,000

###### 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (2019年12月31日)	提出日現在 発行数(株) (2020年2月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	7,236,000	7,236,000	東京証券取引所 市場第二部	単元株式数は 100株であります。
計	7,236,000	7,236,000		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

###### 【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

###### 【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2019年10月1日～ 2019年12月31日		7,236,000		837,440		1,117,380

##### (5) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

2019年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 611,200		
完全議決権株式(その他)	普通株式 6,621,300	66,213	
単元未満株式	普通株式 3,500		
発行済株式総数	7,236,000		
総株主の議決権		66,213	

(注) 当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(2019年9月30日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【自己株式等】

2019年12月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社まんだらけ	東京都中野区中野5-52-15	611,200		611,200	8.44
計		611,200		611,200	8.44

(注) 当第1四半期会計期間末日現在における当社所有の自己株式は611,238株であります。

## 2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期報告書の提出日までの役員の異動は、次のとおりであります。

### (1) 新任役員

役職名	氏名	生年月日	略歴	任期	所有株式数 (株)	就任年月日
監査役	大工原 幸人	1957年3月23日	1980年4月 三井物産株式会社入社 2010年10月 株式会社ディービーエス 研究所代表取締役就任 2020年1月 (現任) 当社監査役(現任)	(注) 2		2020年1月22日

(注) 1. 監査役 大工原幸人は、社外監査役であります。

2. 前任者の辞任に伴う就任であるため、当社定款の規定により、前任者の任期満了の時までであります。なお、前任者の任期は、2017年12月22日開催の定時株主総会終結の時から4年間であります。

### (2) 退任役員

役職名	氏名	退任年月日
監査役	中村 尋人	2020年1月22日

### (3) 異動後の役員の男女別人数及び女性の比率

男性13名 女性1名 ( 役員のうち女性の比率7.1% )

## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第63号)に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期会計期間(2019年10月1日から2019年12月31日まで)及び第1四半期累計期間(2019年10月1日から2019年12月31日まで)に係る四半期財務諸表について、監査法人ハイビスカスにより四半期レビューを受けております。

### 3．四半期連結財務諸表について

当社は子会社がありませんので、四半期連結財務諸表を作成しておりません。



## 1 【四半期財務諸表】

## (1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年9月30日)	当第1四半期会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	659,092	693,556
受取手形及び売掛金	243,943	300,586
商品及び製品	8,073,056	8,326,244
仕掛品	2,145	2,088
原材料及び貯蔵品	23,623	23,623
前払費用	61,274	50,349
未収入金	17,391	53,224
未収消費税等	2,647	19,756
その他	38,852	48,085
流動資産合計	9,122,026	9,517,514
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物	5,282,803	5,330,454
減価償却累計額	2,157,537	2,195,861
建物及び構築物(純額)	3,125,266	3,134,593
土地	2,216,136	2,216,136
その他	1,124,927	1,199,990
減価償却累計額	747,048	764,693
その他(純額)	377,879	435,297
有形固定資産合計	5,719,282	5,786,027
無形固定資産	9,211	7,600
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	577	598
出資金	800	800
長期貸付金	16,000	16,000
長期前払費用	13,333	11,932
繰延税金資産	478,968	458,149
差入保証金	294,098	348,808
貸倒引当金	16,000	16,000
投資その他の資産合計	787,777	820,288
固定資産合計	6,516,271	6,613,915
資産合計	15,638,298	16,131,430

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年9月30日)	当第1四半期会計期間 (2019年12月31日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
支払手形及び買掛金	14,459	25,165
短期借入金	1,371,000	2,400,000
1年内返済予定の長期借入金	1,855,914	1,301,930
1年内償還予定の社債	91,000	91,000
未払金	143,244	292,379
未払費用	53,820	72,979
未払法人税等	180,705	47,107
前受金	21,011	21,892
預り金	32,487	61,923
賞与引当金	49,715	13,035
株主優待引当金	61,514	47,192
流動負債合計	3,874,871	4,374,604
<b>固定負債</b>		
社債	117,000	117,000
長期借入金	3,532,883	3,433,712
退職給付引当金	744,454	758,353
資産除去債務	58,999	63,893
固定負債合計	4,453,337	4,372,958
負債合計	8,328,209	8,747,563

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年9月30日)	当第1四半期会計期間 (2019年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	837,440	837,440
資本剰余金		
資本準備金	1,117,380	1,117,380
資本剰余金合計	1,117,380	1,117,380
利益剰余金		
利益準備金	3,000	3,000
その他利益剰余金		
特別償却準備金	333	333
別途積立金	2,018,000	2,218,000
繰越利益剰余金	3,466,693	3,340,456
利益剰余金合計	5,488,026	5,561,789
自己株式	132,879	132,879
株主資本合計	7,309,967	7,383,730
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	122	136
評価・換算差額等合計	122	136
純資産合計	7,310,089	7,383,866
負債純資産合計	15,638,298	16,131,430

(2) 【四半期損益計算書】  
【第1四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自2018年10月1日 至2018年12月31日)	当第1四半期累計期間 (自2019年10月1日 至2019年12月31日)
売上高	2,412,753	2,331,929
売上原価	1,058,883	1,052,094
売上総利益	1,353,869	1,279,834
販売費及び一般管理費	1,138,801	1,160,263
営業利益	215,068	119,570
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	13	13
為替差益	-	47
受取手数料	271	345
受取保険金	-	19,415
その他	1,724	1,714
営業外収益合計	2,009	21,536
営業外費用		
支払利息	10,361	10,118
社債利息	1,424	990
為替差損	75	-
支払手数料	678	678
その他	51	337
営業外費用合計	12,591	12,124
経常利益	204,486	128,982
特別損失		
有形固定資産除却損	105	-
特別損失合計	105	-
税引前四半期純利益	204,381	128,982
法人税、住民税及び事業税	50,179	27,781
法人税等調整額	16,716	20,812
法人税等合計	66,895	48,594
四半期純利益	137,485	80,388

【注記事項】

(継続企業の前提に関する事項)

該当事項はありません。

(会計方針の変更等)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

該当事項はありません。

(追加情報)

該当事項はありません。

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自 2018年10月1日 至 2018年12月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)
減価償却費	61,501千円	57,724千円

(株主資本等関係)

前第1四半期累計期間(自 2018年10月1日 至 2018年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年12月21日 定時株主総会	普通株式	6,624	1.00	2018年9月30日	2018年12月25日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期会計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

株主資本の金額は、前事業年度の末日と比較して著しい変動はありません。

当第1四半期累計期間(自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年12月20日 定時株主総会	普通株式	6,624	1.00	2019年9月30日	2019年12月23日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期会計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

株主資本の金額は、前事業年度の末日と比較して著しい変動はありません。

(持分法損益等)

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社は、中古品販売を行う単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期累計期間 (自 2018年10月1日 至 2018年12月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額	20円75銭	12円13銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益(千円)	137,485	80,388
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	137,485	80,388
普通株式の期中平均株式数(株)	6,624,762	6,624,762

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。



## 独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年2月13日

株式会社まんだらけ  
取締役会 御中

### 監査法人ハイビスカス

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 森崎 恆平 印

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 丸木 章道 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社まんだらけの2019年10月1日から2020年9月30日までの第34期事業年度の第1四半期会計期間(2019年10月1日から2019年12月31日まで)及び第1四半期累計期間(2019年10月1日から2019年12月31日まで)に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して四半期財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社まんだらけの2019年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。